



5月臨時県議会

■平成25年5月臨時愛知県議会開催へ

5月臨時議会が23日に開催されます。議会人事では、議長、副議長の選挙に続き常任委員会等について内定どおり可決される予定です。また、知事提出案件は**風しんワクチン接種緊急促進事業費補助金**創設にともなう一般会計補正予算、見識を有する者及び議会選出の監査委員の人事案件、専決承認では自動車取得税に対し衝突被害軽減ブレーキを備える自動車に係る課税標準の特例措置にバス等を追加するなどの地方税法の一部改正などが上程され、各議案とも可決、同意、承認される予定です。

●議長・副議長選挙

民主は議長に仲団長、副議長に近藤副団長を候補者とします。現議員数は99人（定数103人、欠員4名）、党派別では、民主24、自民49、減税日本一愛知18、公明6、無所属2となっており、自民は単独過半数に届かない現状ですが、各会派がそれぞれ候補者を擁立することもあり、正副議長は自民会派から選出される模様です。議長は平成21年度の吉川氏に続き、地元の久保田氏（稲沢市、5期、60歳）が就任される予定です。

監査委員は地方自治法の第196条第1項に基づき、人格が高潔で、普通地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた見識を有する者(3人)及び議員の内から(2人)議会の同意を得て5人の委員が選任されています。

代表(常勤)は年間130回程度会議等があり給与月額714,600円、期末手当2.95か月分、議員選出の2名(非常勤)は年間60回程度の会議等があり月額81,755円+日当23,640円が支給されます。

(代表の月額は10%、議員選出の月額・日当は1.5%削減後の数値です)

議会選出監査委員は豊田市等既に廃止しているところもあり、議会の役割の中でも議論すべき項目でもあります。

●常任委員会等について

県議会で7年目の鈴木は、常任委員会が、2回目となる**警察委員会**（初めて委員長に指名される予定です）に、特別委員会は**教育文化・福祉対策特別委員会**に、また**屋外広告物審議会**にも所属し活動する予定です。

レッツ ShakeOut(シェイクアウト)9月1日
愛知県・稲沢市合同総合防災訓練



	常任委員会名	所管部署(事項)等	(参考:市議会)
	総務県民	知事政策局、総務部、県民生活部、防災局、出納事務局、選管等	総務
6年目⇒	地域振興環境	地域振興部、環境部	文教経済
1年目⇒	健康福祉	健康福祉部、病院事業庁	厚生
2年目⇒	産業労働	産業労働部、企業庁、労働委員会	文教経済
3年目⇒	農林水産	農林水産部 (愛知海区漁業調査委員会・愛知県内水面漁場管理委員会)	文教経済
5年目⇒	建設	建設部、収用委員会	建設
	文教	教育委員会	文教経済
7・4年目⇒	警察	公安委員会—警察本部	

■稲沢市消防操法大会開催 2013. 5. 12 夜、仕事の後、訓練に励む第1分団



晴天の中、第9回稲沢市消防操法大会が稲沢市消防本部操法訓練所で行われ、稲沢地区(6)、祖父江地区(3)、平和地区(2)の全11分団が日頃の訓練の成果を競いました。優勝は第6分団(大里)、準優勝は4年連続第1分団(稲沢)でした。県大会は8月10日(土) 今週市長選の西尾市で開催です。



関係者やご家族が見守る中、操法開始!(第1分団がトップバッター)

STEP 21 県政 REPORT



民主党県議団 **すすき純**

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24
Tel24-6600 Fax23-0791 juneri@na.commufa.jp

1305

先天性風しん症候群(CRS): 妊娠初期に風疹に罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に難聴、心疾患、白内障などの障害を引き起こすことがある。今年に入り5件発生、そのうち2件が本県。



●風しんワクチン接種緊急促進事業費補助金

全国的に風しんの流行(すでに昨年の2倍以上の6千件弱が発生)が続いており、流行を抑え、さらに先天性風しん症候群(CRS)抑えるため、市町村が実施する予防接種(対象: 来年3月までに妊娠を予定または希望する女性及びその夫)の助成額の1/2の補助(上限2500円)を実施するため1億26百万円を予算計上。

■福祉医療制度の見直しに関する見直し素案について

昨年12月のSTEP21 県政 REPORT1212 で既報の通り、愛知県の福祉医療制度は、子ども、障害者の方などが安心して必要な医療を受けられるように医療保険制度の自己負担相当額を公費で支給するものです。市町村が支出した費用の1/2を補助しており、平成24年度予算は約235億円でした。

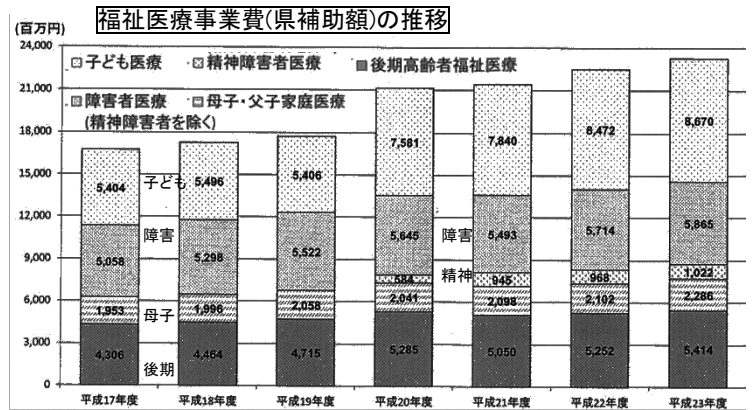
【現行制度】

他県に比べ所得制限や一部負担金がない等全国トップレベルの制度だが、福祉医療費の大きな伸びが予測されるため、重点改革プログラムの46項目の中に位置付け、見直しの検討が行われている。

制度名称	対象者	H24 年度予算	備考
子ども医療事業費補助金	通院: 小学入学前約 48 万人 入院: 中学卒業まで約 111 万人	約 86 億円	S48 制度創設 H20 4 歳未満児までから現制度に拡大
障害者医療事業費補助金	身障約 5 万人、知的、精神各約 2 万人など計約 10 万人	約 70 億円	H20 精神障害者保健福祉手帳 1・2 級まで拡大(精神疾患のみ)
母子父子家庭医療事業費補助金	親(母または父)と児童(18 歳到達年度末まで)約 13 万人	約 23 億円	H53 制度創設 H3 父子家庭まで拡大
後期高齢者福祉医療給付事業費補助金	被保険者の内、障害者医療対象約 10 万人、寝たきり・認知症高齢約 1 万人など計約 11 万人	約 56 億円	S58 制度創設 H4 認知症高齢者まで拡大 H20 精神障害者(障害者医療)まで拡大(全疾患)等
計	約 145 万人	約 235 億円	

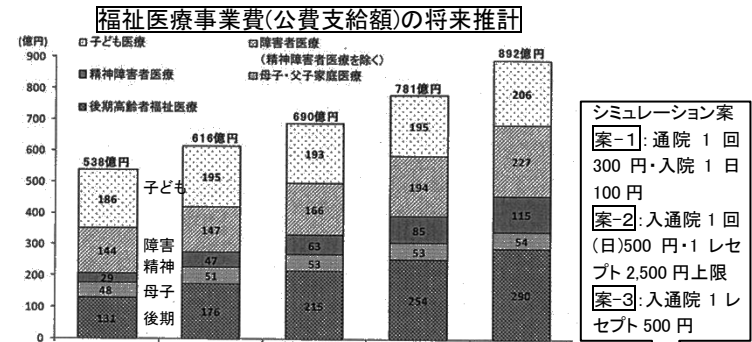
【福祉医療費(県補助額)の推移】

H17→23では県の福祉医療費合計は167億円から233億円へ65億円の増、特に制度変更のあったH20年度は34億円増加(内、子ども医療は約22億円と増加分の6割以上を占める)、H21→23の間は年平均約7億円、3.2%の伸び。



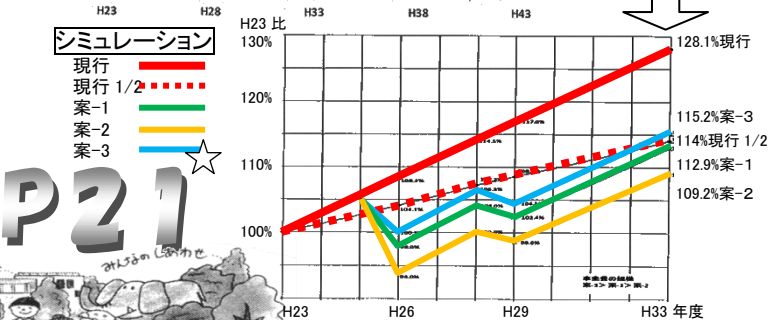
【福祉医療事業費の将来推計】

県補助対象の福祉医療費(県と市町村の公費支給額)は、H23年度の538億円と比較しH43では892億円、165.8%(県補助額に伸び率を当てはめると233億円→386億円)と増大することが見込まれる。伸びが大きいものは、後期高齢者福祉医療220.5%、159億円の増、障害者医療198.4%(内、精神障害者医療は403%)、169億円の増。子ども医療は110.8%、20億円の増に止まる。



【見直し案のシミュレーション】

一部負担金と所得制限の導入により伸び率を現行の半分程度(H33 現行 128.1% vs 案-3では115.2%)に抑えているが、子ども医療費は極端に抑えられた結果(H33 現行 103.6% vs 案-3でも87.3%)となっている。



シミュレーション案
 案-1: 通院 1 回 300 円・入院 1 日 100 円
 案-2: 入院 1 回 (日)500 円・1 レセプト 2,500 円上限
 案-3: 入院 1 レセプト 500 円

イベントを

- 24日 観光協会総会 平和町商工会通常総会
- 26日 尾張水防・防災訓練
- 6月1日～あじさいまつりメイン 8・9日
- 6日 稲沢市議会 6月定例会開会
- 14日 愛知県議会 6月定例会開会



祝! 金環日食 総務会長の任期が明け

の副幹事を務めることになりました。6月定例会では一般質問に立たせて頂きます。この休みに田んぼの緑も増えました。尾張大國 霊神社・国府宮様の御田植祭は6月24日です。未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん

ホッとしましたが民主党県議団